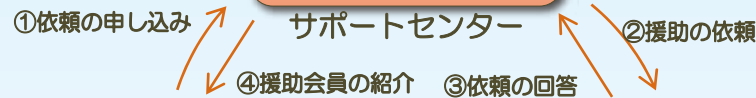


～ファミリーサポートセンターのしくみ～

アドバイザーが
相互の希望を
コーディネート



松阪市及び近隣市町に
在住または、松阪市内に
通勤通学するおおむね
4ヶ月～小学校6年生の
子どもをお持ちの方

松阪市及び近隣市町に
在住または、松阪市内に
通勤通学する20歳以上の
指定の講習を受けた方

依頼会員 ⑤援助活動 ⑥料金支払い 援助会員

★まず入会をしてください★

お申し込みは当センターまでおこしください。

★ 入会をすると ★

- ① 援助会員とのコーディネート
条件に合った援助会員（2～3名）を探します。
- ② マッチング（顔合わせ）
援助会員・依頼会員の顔合わせです。実際に援助をするお子さんもお連れいいただいて、条件の確認をします。
- ③ 援助活動開始
事前に予約をいただいたうえで援助活動が始まります。

★1時間の利用料金★

★援助開始3時間前までに依頼があった場合★	
平日 7:00～19:00	700円
平日の上記以外の時間・土日祝日	800円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,000円
★援助開始まで3時間を切った場合・軽い病児・病後児★	
平日 7:00～19:00	1,000円
平日の上記以外の時間・土日祝日	1,200円
年末年始（12月29日から1月3日）	1,400円

★1回あたりの宿泊の利用料金★

22:00～6:00（連続8時間）	5,000円
年末年始の同じ時間（12月29日から1月3日）	7,000円



新事務所
4月から移転



カリオンプラザ1階正面



キッズコーナー

まつさかファミリーサポートセンター

〒515-0084 松阪市日野町788番地 カリオンプラザ1F
(特)松阪子どもNPOセンター内

TEL・FAX 0598-20-8246

E-mail mfsc@mknpo.jp

ホームページ <http://www.mknpo.jp/mfsc/>

開所時間 月～金 8:30～19:00



『あなたの子育て応援します』

ファミサポ

ホットタイム

2015年6月（第24号）

発行元：まつさかファミリーサポートセンター

交流会

3月14日(土)14時～15時
松阪市市民活動センター
ぜんさんのおはなし劇場
～おかしな話をあそんじゃおう!～



2014年度の活動報告

今年度も会員数が600名を超えました。2、3月になると子どもが保育所に入ることをきっかけに働き始めるお母さんの入会が急に増えます。援助内容を見てもわかるように保育施設までの送迎が663件と最も多いです。援助内容のその他の内訳でもっとも多いのが子どもの習い事等の場合の援助です。母親も子どもたちも忙しく、家庭で過ごす時間が短くなってきています。依頼会員がファミサポを利用することで、子どもと過ごす時間が増えればいいと思います。アドバイザーとして会員ともに「子どもにとってどういう援助が必要か」を考え、サポートし、研修会や交流会を充実して、地域に根ざした子育て支援の活動を広げていきます。

援助件数 合計1337件

援助内容

保育施設までの送迎	663件
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	67件
保育施設の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	44件
学校の放課後の子どもの預かり	22件
買い物等外出の際の子どもの預かり	14件
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	2件
その他	

援助内容のその他の内訳

子どもの習い事等の場合の援助	364件	学校の登校前の預かり及び援助	1件
保護者等の就労の場合の援助	75件	子どもの病気時の援助	0件
放課後児童クラブへの迎え及び自宅送り	51件	保育所・学校休み時の援助	0件
学校の迎え及び帰宅後の預かり	30件	出産時の援助	0件
保護者等病気その他急用の場合の援助	4件		

依頼会員	322名
援助会員	231名
両方会員	57名
合 計	610名
会員数(2015年3月末現在)	

ファミサポ この1年

援助会員養成講座

第1回 (8名登録)
7月31日・8月3日・7日・9月3日
第2回 (10名登録)
1月22日・29日・31日・2月6日

4日間25時間の講座を2回行いました。
併せて18名の方が入会されました。
子育て中の方から、お孫さんがいらっしゃる方まで、
年齢も幅広く受講していただきました。

援助会員養成講座内容

☆ 保育サポーターの役割と心得	1.5時間
☆ 子どもの遊び	2 時間
☆ 子どもの事故と安全・幼児救急法	3 時間
☆ 子どもの発育と病気	3 時間
☆ 保育の心	2 時間
☆ 松阪市の子育て支援サービスの現状	0.5時間
☆ 事業を円滑にすすめるために	0.5時間
☆ 子どもの心の発達と障害について	3 時間
☆ 小児看護	3 時間
☆ 子どもの栄養と食生活	3 時間
☆ 乳児の暮らしとケア	1.5時間
☆ 講座をふりかえって	2 時間

ステップアップ講座

ステップアップ講座はチャイルドラインMIEネットワークの『～子ども支援者養成講座～』を位置づけました。

田部眞樹子さんの「チャイルドラインとは」・鈴木聡さんの「子ども虐待」・浜田進士さんの「子どもにはチカラがある～子どものエンパワメントを支えるおとなの役割～」の講座を受講していただきました。子どもに寄り添う事の大切さを改めて感じたという声が聞かれました。資質向上のために重ねて受講することが大切だと感じ、これからも奨めていきたいと思います。

交 流 会

日時 3月14日(土) 2:00～3:00
場所 松阪市市民活動センター

交流会は、東京からあそび環境Museumアフタフ・バーバンの金子さんに来ていただき、「ざんさんのおはなし劇場～むかしばなしをあそんじゃおう!を開催しました。大きな身体のざんさんが表情豊かに語りだす昔話は時間の経過とともに子どもも大人も前のめりになり大声で笑ったりして舞台と観客が一体となりました。

お話を聞いた子どもたちはそれぞれに発想をふくらませ投げかけます。そして、ざんさんは子どもの動作や言葉を受け止めながら、お話を作り上げていきます。この舞台はまさに子どもと大人が対等にあそび合う関係がみられた交流会でした。

～ 援 助 活 動 か ら ～

援助活動の内容

小学1年から2年間、小学校にお迎えに行き学童へ送るという援助活動をした上野さん親子にお話を聞きました。

子どもの声

楽しかったよ!(第一声です。)

- ・ MayJの歌をいっしょに聞いたり、ゲームをしたりとても楽しかった。
- ・ 折り紙やお絵かきをしたのをプレゼントしたり、クリスマスカード交換もしたよ。
- ・ 最後の日は泣いちゃった。

お母さんの声

援助の時間としては20分程でしたが子どもが楽しい時間を過ごしているのがわかり、私も安心して仕事ことができました。援助会員さんの子どもへの愛情を感じ信頼してお願いすることができました。仕事を辞める時がきたら、今度は自分が援助したいと思っています。

